

# 「われわれはどこから来てどこへ行くのか？」

## 〈第4回〉

講師：加藤真規子さん

日時：7月25日（土）13:30～15:30

会場：ワーカーズコープ北関東事業本部

さいたま市南区南本町2-5-15M・M 201号

費用：500円（資料代）

ピアサポーターにコーディネーターは必要？  
一人で抱え込まないためにピア同士で  
コーディネーターするのがいいのか？  
それとも他の方法があるのか？

気持ちを受け入れるのではなく  
受け止めることが共感疲労を防ぐ  
手立てではないかと思うが、  
コツとか術はあるのか？

疲れやすい人が多いが、疲労感に  
気づくにはどうすれば？どんな  
休み方をしているの？

調子の波にどう付き合っ  
ているのを知りたい。

自分のケアは？自分が壊れない  
セルフケアについて知りたい。

## われわれは（=てとてとての会）どこから来たのか？

イタリア映画「人生、ここにあり」を見て感動した人たちがこれを縁にして集まりを続けよう！何か自分たちで出来ることはないか探してみよう！と例会を月1回続けてきました。紆余曲折がありましたが、ピアサポートを基盤に仕事おこしがしたい、みんなでお金を出し合って、みんなに対等に運営し、共に働こう、それぞれの得意分野を発揮できるようにしよう、というところまで意見がほぼ一致（と言ってもまだまだ温度差があります。待ちきれず仕事を探してすでに就職した仲間もおります）しましたが、なかなか具体的なビジョンをつかめなくて彷徨し続けている現実があります。

## われわれはこれからどこへ行くのか？

おおざっぱには生活支援の方向性を確認しましたが、具体的には何を支援できるのか？どうやって立ち上げるのか？事務所はどこに探すのか？その運営はどうするのか？まだまだ、もたついています。前途多難です。そこで、ピアサポートの最前線で活躍している人たちに来てもらって、講演+質疑応答をもらいアドバイスを得ようと連続講座を企画しました！

暗中模索の「てとてとての会」ですが、この講座に興味と関心があったら、ぜひ聴きにきてください！！

## 主催 サポートグループ「てとてとての会」

連絡先 てとてとての会事務局（NPO法人ワーカーズコープ労協センター事業団北関東事業本部内）  
TEL:048-844-0085・FAX:048-844-0086

## 「てとてとの会」とは…

2011年に開催された「人生、ここにあり」という映画上映集会に参加したメンバーを中心に結成され、障がいを持っていても自らが主体となり、協同して仕事をおこすことをテーマに毎月、懇談をしたり学習しながら仕事おこし・就労を目指している会です。

## 加藤真規子さん プロフィール

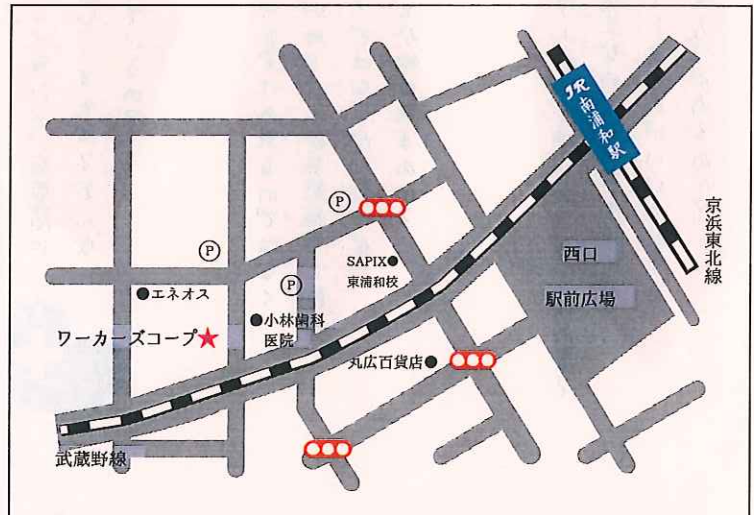
1954年、埼玉県生まれ。現在 NPO 法人正真障害者ピアサポートセンターこらーるたいとう代表。NPO 法人障害者権利擁護センターくれよんらいふ専門員。全国ピアサポートネットワーク世話人。主著『自立生活運動と障害文化—当事者からの福祉論』(共著) 全国自立生活センター協議会、現代書館、2001年。『精神科看護白書2002-2003』(共著) 日本精神科看護技術協会、中央法規出版、2002年。『母体保護法とわたくしたち』(共著) 明石書店、2002年。『支援員風雲録』(共著) 花田春兆、現代書館、2004年。

## 会場案内

ワーカーズコープ北関東事業本部  
さいたま市南区南本町 2-5-15M・M オフィス 201号

### ■最寄駅

JR 南浦和駅(JR 武蔵野線・JR 京浜東北線)  
西口より徒歩 5 分※会場に駐車場はありません



## 申し込み

参加人数の把握のために、なるべく事前申し込みをお願いします。下記に必要事項を記入のうえ FAX してください。

参加申込書：FAX 048-844-0086

フリガナ	男・女	所属 企業名 団体名 学校名 他		
お名前				
連絡先	〒		TEL	-
			FAX	-
			E-mail	@